

'08 年度哲学科合宿のお知らせ

期 日 2008年9月28日(日)～30日(火) 2泊3日

場 所 (財)大学セミナー・ハウス 192-0372 八王子市下柚木 1987-1
TEL 042-676-8511

交通手段 南大沢駅および八王子駅からバスあり(詳しくは、HPか哲学科掲示板を参照)

費 用 すべて込みで、学生1名あたり1万円程度

スケジュール

28日	14:00	14:30～18:30	19:00
(日)	現地(さくら館1Fセミナー室A)集合	研究発表(I)と特別発表	夕食(懇親会)
29日	9:00-12:00	15:00～18:00	18:30
(月)	研究発表(II)	昼食・休憩 特別講演	夕食(懇親会)
30日	9:00		
(火)	会計 現地解散		

研究発表(I) 八幡俊久(4年):ラッセル『外部世界はいかにして知られうるか』第三講について(卒論中間発表[松阪])

木本周平(M2):ヘーゲルの承認概念(修論プレ発表[石川])

特別発表 細川雄一郎(D2):What's happening within if-clauses?

研究発表(II) 堀井 亮(4年):哲学探究471節及び周辺の文脈の検討(卒論中間発表[甲斐])

平賀直哉(M2):ウィトゲンシュタインの規則遵守論における「文法」について(修論プレ発表[甲斐])

※ []は指導教員

特別講演

特別講師:木島泰三さん[法政大学文学部非常勤講師]

題 目:スピノザ——自然としての神、自然の一部としての心(仮題)

科学革命以降の自然観(機械論的自然観)を踏まえた「自然主義者」としてスピノザを捉え、そのようなスピノザの、①超自然的性格を一切もたない特異な「神」の概念、②人間を「線や面や立体を扱うのと同じ仕方」で扱うという方法に基づく人間の心(精神)の理論、の二点を中心に、その論証の構造の明確化と、哲学史の上での定位を概括的に話していく予定です。

その他の注意事項

- ・原則どなたでも参加できます。
- ・参加希望者は哲学事務室横の掲示板に貼ってある参加者名簿に氏名と学籍番号を記入してください。
- ・申し込みの締め切りは8月29日(金)とします。
- ・急な事情で参加できなくなった場合には、教員の石川(042-677-2075、iskwmtm@yahoo.co.jp)まで必ず連絡をお願いします。
- ・学生証、そして万一の時のために健康保険証もお忘れなく。